

広島再選挙 自公を破り野党統一候補が勝利

全国でも市民と野党の候補が全勝



19年参院選の大規模買収事件を受けてたたかわれた参院広島再選挙で、市民と野党の統一候補・宮口はるこ氏が、自公が推す候補を破って勝利しました。

この選挙は、宮口候補が県内の三つの市民連合と①金権腐敗選挙の払拭②日本政府への核兵器禁止条約参加要求③安保法制廃止一などの政

策協定を締結し、さらに市民連合と日本共産党、立憲民主党などがそれぞれ同じ協定を結んだ形での広島初の野党共闘選挙の勝利です。

参院長野選挙区補選、衆院北海道2区補選と並んだ「全勝」は菅政権を追い詰め「野党連合政権樹立」の大きな一歩です。(写真は26日、市内で選挙結果を報告する大平さんら) また、日本共産党は25日投票の鳥取県湯梨浜町議選では二議席を確保しています。

大平さん コロナ禍で苦難軽減に取り組む団体と懇談

大平喜信前衆議院議員は22日、コロナ禍で住民の苦難軽減に団体との懇談を行いました。(写真)

「ハローワークアンケート」に取り組んだ建交労、生活保護基準引き下げ違憲訴訟をたたかう広島の原告・弁護団、働く女性の集会実行委員会の方々から、「働きたい人も働けない人も、女性も若者や高齢者もみんなが苦しんでいる。『だからこそ聞いてほしい!』と願いたくさんの声が寄せられています。

大平さんは「その声を必ず国会へ」と決意を語っています。



中国ブロック業者後援会 オンライン交流会開く

岡山ではオンラインで倉林議員を迎えて「医療福祉のつどい」



23日、中国ブロックで初の業者後援会交流会が開催され、総選挙勝利への決意を固めました。(写真)

また、24日には岡山県の医療介護労働者後援会が倉林明子参議院議員を講師に「つどい」を開催しました。

いずれもオンラインで開催されています。コロナ禍で「オンライン」の可能性を様々な活動に活かす取り組みが広がっています。